

# 世界遺産白神山地からの提言

～意見文を書こう～ (教育出版)

<b>校種・学年</b>	小学校・第5学年	<b>教科等</b>	国語科
<b>時間・学期(月)</b>	10時間・後期(11月)	<b>副読本</b>	P4、14
<b>準備等</b>	グラフ図、光合成のイラスト、副読本「広げよう！STOP 温暖化」		

## 1 わらい

多様な文章や資料を比べながら読み、自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書く。

## 2 伸ばしたい資質・能力

- さまざまな種類の資料から、情報を読み取る力
- 自分の立場や考えを決め、グループやクラスでそれを伝え、考えを深め合う力
- 自分の立場や考えを主体的に文章化する力

## 3 指導計画(全10時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	○単元名とリード文を読み、自分の意見を文にまとめることについて話し合い、学習の見通しをもつ。
1	○白神山地について書かれた二つの文章を読み、白神山地の自然保護の方法を知る。
2	○白神山地の自然保護のあり方について自分の立場を決め、その考えの根拠となる情報を見つける。
1	○考えを出し合い、グループで意見を交流することで、自分の考えを深める。
3	○自分の考えとその根拠を整理して、意見文を書く。
2	○友達と意見文を読み合い、学習を振り返る。



## 4 本時の学習指導(本時 5/10)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5	○前時の学習を想起し、本時の目標を確かめ、学習の見通しをもつ。	○自然保護に対する二つの考えを観点にして、それぞれの立場でカードを仲間分けし、どのような考えや根拠があるのか確かめるようにする。
10	○自分の考えをまとめたワークシートを、グループで読み合う。	○白神山地の自然保護のあり方について、資料から得た根拠を明確にして意見を交流するように促す。交流を通して新たにわかったことを、ワークシートに書くように示す。
5	○ワークシートに書いたそれぞれの考えや根拠を質問し合ったり、考えを述べ合ったりする。	★交流する際の根拠となる資料の一つとして活用する。
5	○自分の考えや根拠と比べながら、より説得力のある根拠だと考えた情報をカードに書く。	(P.4 地球温暖化とCO2、P.14 森を守ることは二酸化炭素を減らす、適切に管理された森林の資源等)
15	○カードに書かれた内容を整理し、交流をとおして新たにわかったことや、考えたことをワークシートに書き出す。	○自然保護に対する二つの考えを観点にしてあらためてカードを仲間分けし、そのうえで、自分の考えをノートにまとめるようにする。
5	○カードに書かれた内容を学級全体で共有し、次時の確認をする。	

### 5 他教科等とのつながり

○5年生社会科「森林を守る人々」

### 6 社会とのつながり

- 家庭や地域の人たちとの対話
- 社会で起きている環境問題への興味・関心

### 7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）

- 家庭や地域の方に、調べたことを伝えとともに、これからについて一緒に考える機会をもつと、学習がより深まる。
- 学習したことを基に自分たちにできることを選択・判断させるために、学習前の自分の考えを記録し、活用することで、学習を通して自分の考えがどうなったのかが実感できる。
- 自分の考えの変容が、具体的な行動にどう表れるかについて、「エコライフデー」を活用するとよい。

### 8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など

- 児童は、森林の持つ豊かな自然の力を知り、それを次代に受け継いでいきたいという意識が高まっていた。
- 授業の中で、児童が自分たちの言葉で語る場面が多く、非常に良い授業だった。
- 教材等の事前準備がよくされており、スムーズに学習が展開していた。

### 9 研究協議の内容

- 事前に準備した教材について
- 単元全体の流れと評価について
- 冊子の活用場面と活用場所について

